

水土里レポート

投稿月日	令和3年6月23日
タイトル	最後の稲作（田植え）体験に挑戦
水土里レポーター名	長崎県山田原第2土地改良区 力野和久

令和3年6月23日、まぶしいばかりに太陽が降りそそぐ中、雲仙市吾妻町の大塚小学校5年生26名が山田原工区で田植えに挑戦しました。

最初は、水に入るのもこわごわとしていましたが、いざ田植えが始まると楽しそうに水稻の苗を握りしめ赤い目印の所に植え始めました。中には植え付けた苗から手を放すと苗が浮いてくる人もいて最初はうまくいきませんでした。段々と慣れてきて最後は苗が楽しそうにポーズをとって横一線に並んでいるように綺麗に植えられていました。秋には、黄金の稲穂が実りみんなで刈取りをするそうです。40年続いた稲作体験も今年で最後になり新しい作物の選定に入るとのこと。

尚、秋には大塚小学校の3年生が今年も「おおつかっ子探検隊」として、山田原第2地区を訪問し、圃場整備の必要性、大型機械での乗車体験、ブロッコリーの収穫体験などを行います。

